

特集 リスニングからの導入

# リスニングからの 題材の導入

重松 靖

(東京都国分寺市立第二中学校)

## はじめに

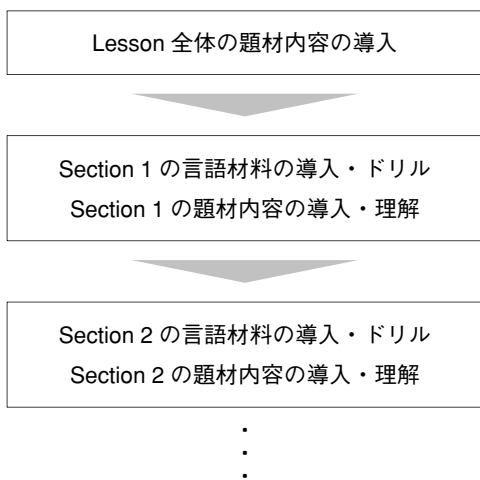
コミュニケーション能力の育成が叫ばれ、英語の授業においてもさまざまなコミュニケーション活動が展開されるようになった。しかし、それらの活動の多くは、言語材料の導入やドリルの段階が中心であり、本文の理解となると旧来の訳読式の授業となることが多い。このギャップの大きさに悩む教師や戸惑う生徒が多いのではないだろうか。

本稿では、リスニングを重視した題材内容の導入、特にレッスン全体のテーマの導入について考え、訳読式からの脱却を図る一歩としたい。

## 1. レッスン全体の内容導入とは

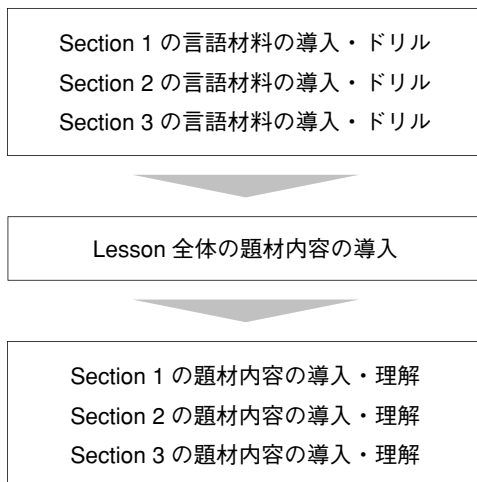
NEW CROWN のそれぞれのレッスンには「環境」「平和」「福祉」など全体を通してのテーマが設定されている。リスニングを中心にそれぞれのテーマを導入することで、学習意欲を喚起し、スムーズに学習活動に入っていくことができるはずである。

一般的には次のような指導過程が考えられる。



この場合注意したいことは、レッスン全体の導入から Section 1 の言語材料の導入がスムーズに行えるかどうかである。同じ絵や写真を用いるなど、自然な流れで言語材料を導入したい。

言語材料の導入・ドリルは生徒の身近な話題を用いたり、ゲーム的要素を加味するなど楽しい活動を展開し、題材内容はじっくりと考えさせたい、という場合には次のような指導過程も考えられる。



BOOK 2: LESSON 6 “Speech—My Dream”, LESSON 9 “Landmines and Children”, BOOK 3: LESSON 6 “I Have a Dream”, LESSON 7 “A Vulture and a Child” などには適した指導過程であろう。

## 2. レッスン全体の内容導入例

レッスン全体の題材内容を導入した後に、Section 1 の言語材料の導入へと続く例を考えてみたい。

(例1) BOOK 1: LESSON 8 “They Are Partners”

① 動物やペットについて、次のような Q&A を、生徒とする。

• I like animals. Do you like animals? What animals

do you like?

・ I have a pet. It is a dog. Do you like dogs? Do you have any pets? What pets do you have?

② 木村さんとシンシアの写真を見せ、次のような質問をする。

T: Is this dog a pet?

S: Yes, it is. / No, it isn't.

T: This dog's name is Cynthia and this man is Mr Kimura. She and Mr Kimura live here. They are partners.

③ 同じ写真を用いて言語材料を導入する。

T: What does she have in her mouth? から、電話器を導き出し、She is working for Mr Kimura. She is helping Mr Kimura. を導入する。(以下略)

(例2) BOOK 3: LESSON 3 "Hiroshima and Nagasaki"

① 16 ページにある「原爆の子の像」の写真(ピクチャーカード)を見せ、次のような英文を聞かせる。

T: Have you ever seen this picture? (asks some students) Some of you said, "Yes". In the picture, you can see a girl. She is standing high in the sky. You can see this girl in the Peace Memorial Park in Hiroshima. Have you ever visited Hiroshima? Have you ever been to the Peace Memorial Park? What is the girl holding? She is holding a big *orizuru*. Can you make *orizuru*? (asks some students)

② 次のような質問をして内容を確認する。

Now, please answer these questions.

One: Where is she? (asks some students)

Two: What is she holding? (asks some students)

③ 同じ写真を使って言語材料を導入する。

This girl's name is Sasaki Sadako. Many people in the world read books about her. We are going to read about her. And let's think about the peace. (世界各国で発刊されている本の写真と本を読んでいる久美のピクチャーカードを見せ、) Kumi is interested in the story about her, and she is reading the book. (本を読み終えた久美のピクチャーカードを見せ、) She has just read a book. を導入する。(以下略)

### 3. セクション単位の内容導入

各セクション本文の内容理解の導入では、次の2つの方法が一般的である。

#### (1) 教師による Oral Introduction

Oral Introduction とは、Harold E. Parmer が提唱した Oral Method における新教材の導入方法である。Oral Introduction では、教科書の本文の内容をピックアップカードや図を用いたり、実演したりしながら平易な英文でわかりやすく説明する。

Oral Introduction の後に内容確認のための Test Questions をする訳だが、あくまでも生徒の理解度を確認するためのものである。Wh-questions よりも単純な Yes / No questions の方がよいだろう。

#### (2) 音声教材の利用

付属の音声教材を利用する場合には、概要の理解から細部の理解を問う Listening tasks を考え、何度も聞かせる必要がある。例えば、1 回目の聞き取りでは、場面やだれとだれの会話なのかなどを聞き取らせる、2 回目の聞き取りでは話題の概要を聞き、3 回目の聞き取りで具体的内容について問う、という発問にすべきである。

### おわりに

題材内容の導入に限らず、リスニングの言語活動を行う場合には次の点に注意したい。

#### (1) Pre-Listening の重要性

生徒に英語を聞く必然性を理解させる。「これから聞く英語を注意して聞きなさい」と指示するだけでは、生徒は一体何に注意して聞けばよいかわからない。生徒にこれから聞こうとすることに対して興味を喚起すると同時に、内容に関して生徒が既持っている知識を活性化させたり、内容に対する予測を立てさせるような発問を教師がするなど、Pre-Listening の活動が非常に大切である。

#### (2) 理解を助ける絵や写真の活用

英語を聞くだけでなく、効果的な絵や写真の利用は大きな効果をあげる。デジタルカメラの活用や、インターネットでの情報収集、プレゼンテーションソフトの利用など、様々な可能性を考えることは実に有益である。